

成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 令和 2 年度

市町村名	久喜市			
提案事業名	健康寿命No.1を目指す市民主体の健幸・スポーツ都市づくり事業			
事業期間	令和 2 年度 ～ 令和 2 年度			
事業の必要性、目的	本市はこれまで市民の健康寿命の延伸を目指し、久喜市健康増進・食育推進計画に基づき様々な事業を展開してきたが、健康づくりは、意識の高い方の取組みにとどまり、若い年齢層などの無関心層をターゲットにすることが重要な課題であった。今回、「都市宣言」を行ったことをきっかけとし、全ての市民が主体的に健康寿命の延伸に取り組めるまちづくりの基盤づくりを進めるものである。			
成果指標	(成果を検証する指標) 動画視聴者数及び体験教室の参加者数			
	(成果検証の具体的な方法) 3つの事業に参加した人数及び動画視聴者数を計測する。			
	(上記の指標を設定した理由) これらの事業に多くの市民、団体等に参加してもらうことで市民の主体的な健康づくりに対する理解をより深めることができると考えられるため。			
	(成果の目標値)			
	現状値 (年月現在)	—	目標値 (R3年3月時点)	14,000人
	(施設建設等の場合)			
	年間利用者数(目標)(人)		稼働率(目標)(%)	
住民への公表方法及び特記事項				

【成果指標と構成事業の関連性】

令和2年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
① 市民主体の健幸・スポーツ都市づくり事業	ソフト 市民主体で進めることで、実践に繋がる取組みを地域の皆さんと考えることで、市民が主体的に互いに声を掛け合って事業への参加者が増えるよう取り組む。	50
② 健康講座	ソフト 生活習慣病予防目的に講話と運動教室を開催し、事業への参加者が増えるよう努め、健康に関する意識の高揚を図る。	40
③ 市民主体の健幸・スポーツ都市周知事業	ハード ソフト 市内外に本市が健康寿命No.1を目指し、都市宣言をしたことを周知し、市全体で取り組む機運を高め、様々な取組みへの参加者を増やす。	3,459
④	ハード ソフト 間接補	
⑤	ハード ソフト 間接補	
⑥	ハード ソフト 間接補	
合計		3,549

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	地域の皆さんにご理解いただけるよう、全庁的に取り組むだけでなく、様々な機会を活用していく。自分のために、自分たちのために、自ら動くことで、夢を実現していくことで、宣言の内容を実現し健康寿命の延伸に向かっていく実感を実感していただけるよう、市民の意見を大事に進めていく。
成果指標の達成見込み	無関心層に興味を持って参加してもらうよう様々な関係団体等と協議の上、事業を実施することで達成可能であると判断した。

(記入上の注意)

【成果指標の設定】

・住民への公表方法は具体的に記述すること

【成果指標と構成事業の関連性】

・提案事業を構成する各事業(構成事業)について次のとおり分類すること

「ハード」 施設建設等が中心の事業(ハード事業)。

「ソフト」 主に人的要素を活用した活動でハード事業以外の事業(ソフト事業)。

「間接補」 青年会議所、商工会議所・商工会、自治会、NPO等の公共的団体が実施する事業
に対して市町村が補助金を交付するもの(間接補助事業)。

・事業費は補助金を要望する単年度の事業費のみ記入すること。また、間接補助事業の場合には、
事業費の下に()書きで、市町村の負担額又は補助額を記入すること。